

調査数量一覧表(6街区)

街区 (箇所)	調査 地点	調査目的 ※1	鉛直分布把握調査														
			汚染物質					水分量					土壌ガス※6				
			土壌溶出量※2					土壌採取(掘削工)					土質試験				
			ベンゼン (検体)	シアン (検体)	砒素 (検体)	地盤高 (A.P. m)	孔底高 (A.P. m)	掘進長 (m)	試料採取 (本)	湿潤密度 (試料)	土粒子密度 (試料)	含水比※3 (試料)	含水比※4 (試料)	保水性 (試料)	粗度※5 (試料)	有機物含有量 (試料)	1m (箇所)
6	C-26	○	12	12	12	+4.29	+0.99	3.30	3	5	5	5	5	1	1	1	地下水
	D-6	○	15	15	15	+4.06	+0.06	4.00	4	4	4	4	4	0	0	0	地下水
	F-22	○	14	14	14	+3.77	-0.23	4.00	4	4	4	4	4	1	1	1	地下水
	計	3	41	41	41	-	-	11.30	11	13	13	13	13	2	2	2	0

街区 (箇所)	調査 地点	調査目的 ※1	油汚染調査																
			土壌※8					地下水※9					土壌						
			土壌採取(掘削工)※7					油臭油膜					TPH※10						
			地盤高 (A.P. m)	孔底高 (A.P. m)	掘進長 (m)	芳香族 アークオン画 分	芳香族 アークオン画 分	ベンゼン トルエン キシレン	ベンゼン トルエン キシレン	TPH※10 (検体)	TPH※10 (検体)	芳香族 アークオン画 分	芳香族 アークオン画 分	ベンゼン トルエン キシレン	ベンゼン トルエン キシレン	TPH※10 (検体)	TPH※10 (検体)	芳香族 アークオン画 分	芳香族 アークオン画 分
6	D-22	○	+4.40	-5.60	10.00	10	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	0	2
	E-26	○	+4.13	-3.37	7.50	8	2	2	0	2	2	2	2	2	2	2	2	0	2
	G-12	○	+3.94	-4.56	8.50	9	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	2
	計	3	0	3	26.00	27	6	6	3	6	6	6	6	6	6	6	6	0	6

※1:調査目的

○:毛管現象による土壌汚染物質ならびに揮発によるベンゼン等の鉛直上向きの移動状況を把握する。
 □:土壌ならびに地下水の油汚染状況を把握する。

※2:「専門家会議の運営に係る調査委託(その4)」調査において採取した土壌試料を流用した。

※3:乱れのない採取試料を使用し、試料の物性(乾燥密度、間隙比)を試算する目的で実施した。

※4:「専門家会議の運営に係る調査委託(その4)」調査において採取した土壌試料を使用し、無水掘りして採取した試料(原地盤)の含水比ならびに飽和度を求めることを目的に実施した。

※5:ふるい+沈降

※6:削孔にはボアリングバーを使用した。なお、地下水水位が高く、土壌ガス採取が出来なかった地点5箇所について、表中に「地下水」と明記した。

※7:「専門家会議の運営に係る調査委託(その4)」調査において採取した土壌試料を流用した。

※8:旧地盤面付近ならびに地下水水面付近で採取した。

※9:地下水水面付近ならびに帯水層の中間深度で採取した。

※10:「環境省の油汚染対策ガイドライン」に準拠し、二硫化炭化水素で抽出した。